

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱第7条第4項の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第1回高松市若者支援協議会実務者会議
開催日時	平成30年9月20日（木）午前10時～午前11時
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 若者支援サポートブック掲載内容等について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	加野委員、水早委員、下川委員、宮脇委員、太巻委員、藤本委員、井上委員、藤井委員、石川委員、山下委員、池田委員、飛弾委員、宇野委員、渡邊委員、田中委員、和田委員、三田委員、田村委員、泉委員、西川委員、茶本委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び 連絡先	健康福祉総務課総務係 839-2372

審議経過及び審議結果

1 開会

2 議事

(1) 若者支援サポートブック掲載内容等について

事務局から若者支援サポートブック掲載内容等について説明し、委員より御意見をいただいた。

委 員) 若者支援サポートブックは何部発行する予定なのか。

事務局) 3万5千部発行予定としている。

委 員) 若者支援サポートブックの冒頭の説明文について、若者に重圧感を与えないためにも、ニュアンスを柔らかく表現してみてはどうか。

事務局) 御意見を参考に検討していきたい。

委員) 悩んでいる若者を支援機関に繋げるために民生委員は重要と考えているので、民生委員に対する研修を行ってほしい。

議長) 今年度から地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業が開始されたことに関連することになると思われるので、研修については今後検討していきたい。

委員) アンケートの表現方法を一部修正したらどうか。

事務局) 御意見を参考に検討していきたい。

委員) 民生委員がひきこもりの若者を支援するために、香川県ひきこもり地域支援センターを活用してみてもどうか。

委員) 香川県ひきこもり地域支援センターでは地域に近い存在である民生委員に対して研修を行っている。

委員) 不登校の若者支援の現状については、高松市総合教育センターと協力しながら、スクールカウンセラー等の支援を行っている。

委員) 学校卒業後にひきこもりになるケースもあるので、生徒に直接配布し、支援機関がたくさんあることを知ってもらってはどうか。

事務局) 関係団体等への配布部数の状況を見ながら検討していきたい。

委員) 若者支援サポートブックの配布について、紙媒体だけでなく、ホームページに掲載する等、いつでも様々な人が見ることができるようにしたらどうか。

事務局) 御意見を参考に検討していきたい。

委員) 若者支援事業に関するアンケートについて、サポートブックを持参した人を対象とするのか。

事務局) サポートブックの有無に関わらず、支援機関の窓口で相談に来られた方を対象とする予定としている。

委員) 若者支援サポートブックの支援機関一覧について、支援が必要な若者が見やすいように色分けしてみてもどうか。

事務局) 御意見を参考に検討していきたい。

委員) 若者支援サポートブック配布予定時期は。ホームページ等のインターネット上に掲載する予定はあるか。

事務局) 配布時期は12月頃を予定している。ホームページ等の掲載については、

御意見を参考に検討していきたい。

(2) その他

事務局から地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業について説明を行った。

3 閉会